

<報道発表資料>

令和8年7月10日

京都市教育委員会 京都まなびの街生き方探究館

## 児童への感謝状贈呈イベントを開催

～「わくわく WORK LAND」学習で生まれたアイデアが商品に～

京都まなびの街生き方探究館が実施する小学生向けの体験型学習プログラム「わくわく WORK LAND」において、学習の中で児童が提案したアイデアをもとに、株式会社西利が実際に商品を開発、販売いただけることとなりました。(全240点のアイデアの中から3点を採用)

販売を記念し、アイデアを提案した児童への感謝状贈呈式と、児童自らが商品POPを製作するワークショップを開催します。



(児童のアイデアをもとに開発した新商品のイメージ)

### 【イベント概要】

- 日時 令和8年8月7日(金) 午前10時～正午  
午前10時～ 感謝状贈呈式  
午前10時30分頃～ 商品POP製作ワークショップ
- 場所 京つけもの西利 2階  
(〒600-8051 京都市下京区西中筋通七条上る菱屋町 150-1)
- 参加者 商品アイデアが採用された児童11名(予定)

※取材を希望される場合は、前日までに<お問合せ先>まで御連絡ください。

<「京都まなびの街生き方探究館」について>

平成 19 年 1 月 19 日開設（元京都市立滋野中学校跡地）

産学公連携の下、小・中学校段階から子どもたちに勤労観、職業観を育む「生き方探究教育（キャリア教育）」の体験型プログラムを小・中学校に提供。

※ホームページ <https://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000343716.html>

<「わくわく WORK LAND」について>

小学生対象。児童が、WORK LAND にある会社又は市役所のいずれかの新規採用社員・職員となり、協賛企業の社員等の進行の下、業務体験研修（商品販売など各社の定常業務を模擬店舗で体験）を受けた後、配属部署で指示された任務（新聞の製作、SDGs について考えるなどのグループ活動）に取り組む。

令和 7 年度は 1 1 5 校・6,895 名が来館。令和 8 年度は 1 3 3 校・約 8,300 名が来館予定。

【わくわく WORK LAND 協賛企業】

京都銀行／京都新聞社／井筒八ツ橋本舗／京つけもの西利／ローソン

<株式会社西利のプログラムについて>

業務体験（商品販売・接客）の後、新商品を考え提案する。（新商品開発の視点：①新しい漬物、②漬物を使った新たな商品、③漬物を使ったアレンジレシピ のいずれか）



（業務体験の様子）

<株式会社西利について>

代表取締役社長・平井誠一氏

昭和 1 5 年の創業以来、「旬 おいしく、やさしく。」をモットーに、食卓に健康と笑顔を届けている。

伝統的な和食を応援する「京つけもの西利」、「酵房西利」に加え、発酵食の知見と技術を活用し、ラブレ乳酸菌を使ったグロサリーブランド「発酵生活」や、乳酸発酵甘麴を使ったパンやスイーツブランド「AMACO」を展開。

今回の商品販売により得た収益の一部を京都市に寄附する旨の申出をいただいている。

<お問合せ先>

京都市教育委員会 京都まなびの街生き方探究館（担当：下間<sup>しもつま</sup>・草薙<sup>くさなぎ</sup>）

電話：075-253-0880